

事業実施主体等 事業名：集出荷・加工処理体制合理化推進事業 事業実施主体：埼玉県農業再生協議会 事業実施地区：埼玉県〇〇市町 事業実施年度：平成26～27年度（目標年度28年度） 対象品目：梨 事業費：〇〇百万円（うち国費〇〇百万円）	事業概要及び効果 梨生産の減少や品種の多様化に伴い、B選果場の梨選果をA選果場に集約するとともに、差別化を図るため「糖度選果」に対応した選果施設（糖度センサー等）を導入し、運営コストの低減及び高品質品の出荷により生産者の収益向上を図る。 これにより、運営コストを1割削減（26年産〇〇円/h → 28年産〇〇円/h）、利用率の向上（平成26年産〇%→平成28年産〇%）
---	--

助成金の活用状況 ・ A選果場の梨選設備の高度化に必要な機械・設備を導入。（機械リース：1/2以内） ・ A選果場、B選果場の既存設備は廃棄。（廃棄費の1/3以内）
--

参考案

取組前後の状況	取組前 〇〇市町□□地区 A選果場 (梨選果場) B選果場 (梨選果場) ・ A選果場、B選果場の両方で梨の選果を実施。	取組後 集約 → A選果場 (梨選果場) 用途変更 → B選果場 集出荷場として利用 本事業により、高度化に必要な機械・設備をリース導入。 既存機械は廃棄。 本事業により、既存機械を廃棄。 ・ 梨の選果作業はA選果場に集約化し、B選果場は地区の集荷場として活用。 ・ A生産組合、B生産組合は合併。
--------------------	---	---